

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 11 月 24 日 (2006.11.24)

【公開番号】特開 2000-297046 (P2000-297046A)

【公開日】平成 12 年 10 月 24 日 (2000.10.24)

【出願番号】特願 平 11-287740

【国際特許分類】

A 6 1 K 36/899 (2006.01)

A 6 1 K 36/00 (2006.01)

A 0 1 N 65/00 (2006.01)

A 2 3 K 1/16 (2006.01)

A 2 3 L 1/30 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/78 U

A 6 1 K 35/78 Y

A 0 1 N 65/00 A

A 2 3 K 1/16 3 0 4 C

A 2 3 L 1/30 B

A 6 1 K 39/39

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 31/04

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 6 日 (2006.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】感染予防治療剤、抗エンドトキシン剤、ワクチンアジュバント剤および成長促進剤

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 甘蔗由来のエキスを有効成分とする感染予防治療剤。

【請求項 2】 甘蔗由来のエキ스가、甘蔗汁、甘蔗の溶媒抽出液および甘蔗由来の糖蜜より選ばれる原料を、固定担体を用いたカラムクロマトグラフィーで処理することにより得られる画分である請求項 1 記載の感染予防治療剤。

【請求項 3】 甘蔗由来のエキ스가、甘蔗汁、甘蔗の溶媒抽出液および甘蔗由来の糖蜜より選ばれる原料を、固定担体としての合成吸着剤を充填したカラムに通液し、該合成吸着剤に吸着された成分を、水、メタノール、エタノール及びこれらの混合物から選ばれる溶媒で溶出することにより得られる画分である請求項 2 記載の感染予防治療剤。

【請求項 4】 甘蔗由来のエキ스가、甘蔗汁、甘蔗の溶媒抽出液および甘蔗由来の糖

蜜より選ばれる原料を、固定担体としてのイオン交換樹脂を充填したカラムでの親和力の差を利用したカラムクロマトグラフィー処理により分離して得られる画分のうち、波長 420 nm の光を吸収する画分である請求項 2 記載の感染予防治療剤。

【請求項 5】 イオン交換樹脂が陽イオン交換樹脂である請求項 4 記載の感染予防治療剤。

【請求項 6】 陽イオン交換樹脂が強酸性陽イオン交換樹脂である請求項 5 記載の感染予防治療剤。

【請求項 7】 強酸性陽イオン交換樹脂がナトリウムイオン型もしくはカリウムイオン型である請求項 6 記載の感染予防治療剤。

【請求項 8】 イオン交換樹脂がゲル型である請求項 4～7 のいずれか一項記載の感染予防治療剤。

【請求項 9】 カラムクロマトグラフィー処理が擬似移動床式連続分離法で行われる請求項 4～8 のいずれか一項記載の感染予防治療剤。

【請求項 10】 波長 420 nm の光を吸収する画分を更に電気透析処理に付して塩分を低減したところの、請求項 4～9 のいずれか一項記載の感染予防治療剤。

【請求項 11】 甘蔗由来のエキ스가、バガスを水、親水性溶剤、またはこれらの混合物で抽出して得られるものである請求項 1 記載の感染予防治療剤。

【請求項 12】 親水性溶媒がエタノールである請求項 11 記載の感染予防治療剤。

【請求項 13】 抽出のための親水性溶媒が、60/40 体積比以下の比でエタノールを含むエタノール-水混合溶媒である請求項 11 記載の感染予防治療剤。

【請求項 14】 請求項 1～13 のいずれか一項記載の感染予防治療剤を含む食品。

【請求項 15】 請求項 1～13 のいずれか一項記載の感染予防治療剤を含む飼料。

【請求項 16】 甘蔗由来のエキスを有効成分とするワクチンアジュバント剤。

【請求項 17】 甘蔗由来のエキ스가、甘蔗汁、甘蔗の溶媒抽出液および甘蔗由来の糖蜜より選ばれる原料を、固定担体を用いたカラムクロマトグラフィーで処理することにより得られる画分である請求項 16 記載のワクチンアジュバント剤。

【請求項 18】 甘蔗由来のエキ스가、甘蔗汁、甘蔗の溶媒抽出液および甘蔗由来の糖蜜より選ばれる原料を、固定担体としての合成吸着剤を充填したカラムに通液し、該合成吸着剤に吸着された成分を、水、メタノール、エタノール及びこれらの混合物から選ばれる溶媒で溶出することにより得られる画分である請求項 17 記載のワクチンアジュバント剤。

【請求項 19】 甘蔗由来のエキ스가、甘蔗汁、甘蔗の溶媒抽出液および甘蔗由来の糖蜜より選ばれる原料を、固定担体としてのイオン交換樹脂を充填したカラムでの親和力の差を利用したカラムクロマトグラフィー処理により分離して得られる画分のうち、波長 420 nm の光を吸収する画分である請求項 17 記載のワクチンアジュバント剤。

【請求項 20】 イオン交換樹脂が陽イオン交換樹脂である請求項 19 記載のワクチンアジュバント剤。

【請求項 21】 陽イオン交換樹脂が強酸性陽イオン交換樹脂である請求項 20 記載のワクチンアジュバント剤。

【請求項 22】 強酸性陽イオン交換樹脂がナトリウムイオン型もしくはカリウムイオン型である請求項 21 記載のワクチンアジュバント剤。

【請求項 23】 イオン交換樹脂がゲル型である請求項 19～22 のいずれか一項記載のワクチンアジュバント剤。

【請求項 24】 カラムクロマトグラフィー処理が擬似移動床式連続分離法で行われる請求項 19～23 のいずれか一項記載のワクチンアジュバント剤。

【請求項 25】 波長 420 nm の光を吸収する画分を更に電気透析処理に付して塩分を低減したところの、請求項 19～24 のいずれか一項記載のワクチンアジュバント剤。

【請求項 26】 甘蔗由来のエキ스가、バガスを水、親水性溶剤、またはこれらの混合物で抽出して得られるものである請求項 16 記載のワクチンアジュバント剤。

【請求項 27】 抽出時の親水性溶剤がエタノールである請求項 26 記載のワクチンアジュバント剤。

【請求項 28】 抽出のための溶媒が、60 / 40 体積比以下の比でエタノールを含むエタノール - 水混合溶媒である請求項 26 記載のワクチンアジュバント剤。

【請求項 29】 請求項 16 ~ 28 のいずれか一項記載のワクチンアジュバント剤を含む食品。

【請求項 30】 請求項 16 ~ 28 のいずれか一項記載のワクチンアジュバント剤を含む飼料。

【請求項 31】 甘蔗由来のエキスを有効成分とする抗エンドトキシン剤。

【請求項 32】 甘蔗由来のエキ스가、甘蔗汁、甘蔗の溶媒抽出液および甘蔗由来の糖蜜より選ばれる原料を、固定担体を用いたカラムクロマトグラフィーで処理することにより得られる画分である請求項 31 記載の抗エンドトキシン剤。

【請求項 33】 甘蔗由来のエキ스가、甘蔗汁、甘蔗の溶媒抽出液および甘蔗由来の糖蜜より選ばれる原料を、固定担体としての合成吸着剤を充填したカラムに通液し、該合成吸着剤に吸着された成分を、水、メタノール、エタノール及びこれらの混合物から選ばれる溶媒で溶出することにより得られる画分である請求項 32 記載の抗エンドトキシン剤。

【請求項 34】 甘蔗由来のエキ스가、甘蔗汁、甘蔗の溶媒抽出液および甘蔗由来の糖蜜より選ばれる原料を、固定担体としてのイオン交換樹脂を充填したカラムでの親和力の差を利用したカラムクロマトグラフィー処理により分離して得られる画分のうち、波長 420 nm の光を吸収する画分である請求項 32 記載の抗エンドトキシン剤。

【請求項 35】 イオン交換樹脂が陽イオン交換樹脂である請求項 34 記載の抗エンドトキシン剤。

【請求項 36】 陽イオン交換樹脂が強酸性陽イオン交換樹脂である請求項 35 記載の抗エンドトキシン剤。

【請求項 37】 強酸性陽イオン交換樹脂がナトリウムイオン型もしくはカリウムイオン型である請求項 36 記載の抗エンドトキシン剤。

【請求項 38】 イオン交換樹脂がゲル型である請求項 34 ~ 37 のいずれか一項記載の抗エンドトキシン剤。

【請求項 39】 カラムクロマトグラフィー処理が擬似移動床式連続分離法で行われる請求項 34 ~ 38 のいずれか一項記載の抗エンドトキシン剤。

【請求項 40】 波長 420 nm の光を強く吸収する画分を更に電気透析処理に付して塩分を低減したところの、請求項 34 ~ 39 のいずれか一項記載の抗エンドトキシン剤。

【請求項 41】 甘蔗由来のエキ스가、バガスを水、親水性溶剤、またはこれらの混合物で抽出して得られるものである請求項 31 記載の抗エンドトキシン剤。

【請求項 42】 親水性溶剤がエタノールである請求項 41 記載の抗エンドトキシン剤。

【請求項 43】 抽出のための溶媒が、60 / 40 体積比以下の比でエタノールを含むエタノール - 水混溶媒である請求項 41 記載の抗エンドトキシン剤。

【請求項 44】 請求項 31 ~ 43 のいずれか一項記載の抗エンドトキシン剤を含む食品。

【請求項 45】 請求項 31 ~ 43 のいずれか一項記載の抗エンドトキシン剤を含む飼料。

【請求項 46】 甘蔗由来のエキスを有効成分とする成長促進剤。

【請求項 47】 甘蔗由来のエキ스가、甘蔗汁、甘蔗の溶媒抽出液および甘蔗由来の糖蜜より選ばれる原料を、固定担体を用いたカラムクロマトグラフィーで処理することにより得られる画分である請求項 46 記載の成長促進剤。

【請求項 48】 甘蔗由来のエキ스가、甘蔗汁、甘蔗の溶媒抽出液および甘蔗由来の糖蜜より選ばれる原料を、固定担体としての合成吸着剤を充填したカラムに通液し、該合

成吸着剤に吸着された成分を、水、メタノール、エタノール及びこれらの混合物から選ばれる溶媒で溶出することにより得られる画分である請求項 47 記載の成長促進剤。

【請求項 49】 甘蔗由来のエキ스가、甘蔗汁、甘蔗の溶媒抽出液および甘蔗由来の糖蜜より選ばれる原料を、固定担体としてのイオン交換樹脂を充填したカラムでの親和力の差を利用したカラムクロマトグラフィー処理により分離して得られる画分のうち、波長 420 nm の光を吸収する画分である請求項 47 記載の成長促進剤。

【請求項 50】 イオン交換樹脂が陽イオン交換樹脂である請求項 49 記載の成長促進剤。

【請求項 51】 陽イオン交換樹脂が強酸性陽イオン交換樹脂である請求項 50 記載の成長促進剤。

【請求項 52】 強酸性陽イオン交換樹脂がナトリウムイオン型もしくはカリウムイオン型である請求項 51 記載の成長促進剤。

【請求項 53】 イオン交換樹脂がゲル型である請求項 49 ~ 52 のいずれか一項記載の成長促進剤。

【請求項 54】 カラムクロマトグラフィー処理が擬似移動床式連続分離法で行われる請求項 49 ~ 53 のいずれか一項記載の成長促進剤。

【請求項 55】 波長 420 nm の光を吸収する画分を更に電気透析処理に付して塩分を低減したところの、請求項 49 ~ 54 のいずれか一項記載の成長促進剤。

【請求項 56】 甘蔗由来のエキ스가、バガスを水、親水性溶剤、またはこれらの混合物で抽出して得られるものである請求項 46 記載の成長促進剤。

【請求項 57】 親水性溶剤がエタノールである請求項 56 記載の成長促進剤。

【請求項 58】 抽出のための溶媒が、60 / 40 体積比以下の比でエタノールを含むエタノール - 水混溶媒である請求項 56 記載の成長促進剤。

【請求項 59】 請求項 46 ~ 58 のいずれか一項記載の成長促進剤を含む食品。

【請求項 60】 請求項 46 ~ 58 のいずれか一項記載の成長促進剤を含む飼料。

【請求項 61】 前記感染予防剤が細菌感染予防治療剤である請求項 1 ~ 13 のいずれか一項記載の感染予防治療剤。

【請求項 62】 前記感染予防剤が真菌感染予防治療剤である請求項 1 ~ 13 のいずれか一項記載の感染予防治療剤。

【請求項 63】 前記感染予防剤がウィルス感染予防治療剤である請求項 1 ~ 13 のいずれか一項記載の感染予防治療剤。

【請求項 64】 甘蔗由来のエキ스가分子量 1000 以下の成分を有効成分として含む請求項 63 記載のウィルス感染予防治療剤。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

また、従来報告されてきたワクチンアジュバント剤としては、化合物アジュバント、無機アジュバント、生物学的アジュバントなどがあり、これらは、精製された化合物、無機物、あるいは細菌の生産するエンテロトキシンやエンドトキシンなどを無毒化したものであった。従来用いられているアジュバントは、効果の発現が不安定であり、IgE を産生するという副作用が発現する場合もあった。しかし最近では、天然のより安全性の高いアジュバントを望まれるようになり、また経口投与により効果が発揮されるものが特に望まれている。